面接時の対応チェックポイント

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ポイント | | チェック |
| 1 | 最初にいきなり「自己紹介を2分間程度してください」と振る |  |
| 2 | 求職者の緊張感をほぐし、リラックスさせられるよう気遣いをする |  |
| 3 | 求職者の人格を大切にした接し方をする(上から目線の立場は取らない) |  |
| 4 | 履歴書を事前に確認して、求職者が和みやすい話題から入っていく |  |
| 5 | 求職者に親しみのある言葉をかける |  |
| 6 | 包容力のある態度で接する |  |
| 7 | 求職者の答えに対して暖かい気持ちで接し、決して求職者を批判するような態度や高圧的な姿勢は示さない |  |
| 8 | 求職者が企業を選んでいることを前提に、尊重した姿勢をもって接する |  |
| 9 | 面接担当者は、求職者から『はい』・『いいえ』の答えしか返ってこないような質問は避ける |  |
| 10 | 求職者が、なぜそのように考えるのかを聞き出せる質問をする |  |
| 11 | 求職者の志望動機、当社を求職活動先に選んだ理由、職種選択の理由が出てくるような質問をする |  |
| 12 | 求職者がより多く語れるように、面接担当者は聞き上手に徹する |  |
| 13 | 求職者が共感を呼ぶような相槌を打ち安心させる |  |
| 14 | 求職者の人柄や潜在能力がつかめるような質問、面接を行う |  |
| 15 | 求職者が持っている基本的な判断基準、考え方を測ることができるようにする |  |
| 16 | 面接担当者の質問に、期待する答えが返ってきたことのみで過度な評価はしない |  |
| 17 | 業務内容が「厳しい事」を伝え、それに「どう思うか」を聞く |  |
| 18 | 業務内容が「難しい事」を伝え、それに「どう思うか」を聞く |  |
| 19 | 業務内容が「大変な事」を伝え、それに「どう思うか」を聞く |  |
| 20 | 仕事を通じて「楽しい事」を伝え、それぞれに「どう思うか」を聞く |  |
| 21 | 仕事を通じて「うれしい事」を伝え、それぞれに「どう思うか」を聞く |  |
| 22 | 仕事を通じて「やりがいがある事」を伝え、それぞれに「どう思うか」を聞く |  |
| 23 | 履歴書内容ではなく、「当社に採用される為のPRをしてください」と振る |  |